

## 地域密着型サービスの自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念の共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営推進会議や防災避難訓練を行う際に区長、民生委員、消防団の方にホームまで来て頂き、なじみの関係が作れるように努めています。また、地区の班にも加入し地域の方と触れ合えるよう取り組んでいます。	○	民生委員さんを通じて、地区の高齢者クラブ方との交流を図っています。グループホームの夕涼み会や餅つき会にも招待して交流を重ねて行きたいと思えます。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の目指す目標は、利用者の方が自分らしい生活が出来る事と考えて、その方に添った介護が提供できるように、日々のミーティングで確認し合い、実施に向けて取り組んでいます。	○	一ヶ月に一回の勉強会で個人の意見を出し合い介護の現場で生かしています。必要があれば緊急会議を開き、問題を共有出来る様に取り組んで行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	定着してきました運営推進会議などで、利用者は、地域の中の一員であるという事を確認し合っております。	○	会議や催物がある事に、利用者の理解を求め地域の方々への浸透に取り組んで行きたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地区の自治会にも入会し、回覧板などの持ち回りで近所の方とも顔見知りになり、少しずつですが、会話も持てるようになりました。又、いつでも遊びに来て頂ける様働きかけています。	○	グループホームの立地的な条件もありますが、常に開かれたホームにする為、近隣の方との付き合いに努めています。今後共継続して声かけをしていきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会入会はもちろんのこと、地区の行事への参加や支援なども行っています。グループホームでの行事等へも招待し、参加して頂いております。	○	民生委員さんや区長さんを通じて、交流が持てるよう働きかけています。9月の夕涼み会には、地区の生き生きサロンの皆さんにも案内を出して、来て頂けるよう声かけしていきます。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	当グループホームは高台に位置している為、災害時の避難場所として受け入れ体制で出来ております。非常食も用意して、地域の方への貢献に努めるよう取り組んでいます。	○	区長さんや民生委員を通じて、地域の方へ浸透させて行きたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をし、外部評価を受ける事により、日々の仕事をかえりみる事が出来るので、大変良い勉強になっています。サービスの質の向上に向けて、職員の意識が高まるように働きかけています。	○	外部評価を受ける時ではなく、毎日の仕事の中で自己研鑽に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、行政区長さん民生委員さん等の外部の方からの活発な意見や要望が出され、職員も一つ一つの問題に取り組み、今後のサービス向上に向けて取り組んでいます。	○	3ヶ月に一回の開催ですが、家族や外部の方にも理解して頂ける様な会議をすすめて行きたいと思えます。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	問題点や疑問点などが発生したとは情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいます。	○	グループホームの行事等にも、案内させて頂き交流を深めて行きたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等へは、順番で参加してもらい学ぶ機会は持っていますが現状のところは、該当する利用者はおりません。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は暴力だけでなく、言葉の虐待もあるので、特に、言葉遣いには十分注意し防止しています。又、研修会等があれば職員の参加をすすめ虐待防止に取り組んでいます。	○	グループホームでは、一人の勤務帯があるので、その時の職員の対応が適正にされているかどうか日々のミーティングで話し合いを持ち虐待防止に取り組んで行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	御家族の皆様の不安を解消出来るようサポートして行きたい。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	何でも相談できるような雰囲気作りを行っております。時には職員より料理の好みを聞いてみたり、希望はないかなど、職員の方から働きかけていきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	必要があれば電話にて連絡を行い、現状報告をしております。特に体調不良時、転倒、ケガなどは必ずその日の内に連絡して行きたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	入居時や運営推進委員会にて第三者機関の説明を行っています。グループホームの玄関にも意見箱を設けてどんな些細なことでも見過ごす事のないようにしていきたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	職員の積極的な意見を取り入れ、改善出来る所は、素早く取り入れています。又、職員間で解決困難な時は、運営者に相談して行きたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	緊急時には、職員間で連絡を取り合い人員確保に努めています。特に、他科受診等では運転手の確保ができるようにしていきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事異動は理事長の判断によりますが、異動があった場合は、利用者とのなじみの関係構築に努めています。	○	利用者に安心して生活していただけるよう積極的に、コミュニケーションを取るようしております。なるべく早く利用者顔に顔を覚えてもらえるよう働きかけていきたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会には、順番で参加し質の向上に努めています。	○	グループホーム内での月一回の勉強会でも、各自研修会に参加した職員は、復命を行い、それに伴った学習をしています。今後も研修会等には、積極的に参加していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県北グループホーム連絡協議会をはじめ、日向市グループホーム管理者会等に参加し交流を深め、当グループホーム内での質の向上に努めています。	○	機会があれば、他の施設への見学や情報収集場を作って行きたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	精神的、肉体的にストレスが溜まる現状ですが、積極的に悩みを打ち明けてもらい、少しでも軽減出来るよう工夫しています。	○	職員間で、信頼関係を作り少しでもストレス軽減に向けて取り組んで行きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	仕事に取り組む姿勢を見極め、各自の能力を把握し、称賛し日々の任務に従事出来るよう努めています。	○	一人一人のスキルを認め合い、日々努力し向上心を持って働けるよう努めています。又、各種資格取得へも全職員取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時に、本人さんとの会話を設けて、何でも話して頂けるような雰囲気作りに努めています。	○	本人や家族の不安を取り除く為にも、お互い信頼出来るように働きかけ、何でも相談出来るように努めている。本人からの訴えが少ないので、家族からの訴えがいつでも聞けるようにしていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時に、御家族の要望等をよく聞き、不安や心配事等、少しでも和らげるよう心がけています。	○	本人の生活歴等、詳しい情報が乏しいし、特に、疾病に関しては、今後介護していく中で重要なことであり御家族にも、理解して頂きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの生活像を考え、又、本人さんや御家族の希望も取り入れ支援計画を作成しています。	○	出来る限り、希望に添えるよう、また、納得して頂けるような支援を提供しています。常時日々の変化を把握し、すぐに対応できるようにしていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規で入居された方は、不安でいっぱいだと思います。為、一対一での会話から始まり少しずつでも、職員や他の利用者方と仲良くなれるよう努めています。	○	グループホームの生活に慣れて頂けるよう、常に声掛けして、落ち着きが出てからサービスの提供しています。今後も利用者に寄り添うサービスを目指していきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活の中で、出来る事は一緒にしてもらい、出来ないところを援助させていただくと言ったように同等の立場で生活して頂いています。又、日々の生活の中で、常に、利用者さんとの会話の中に入り、信頼関係を築くよう心がけています。	○	擬似家族として、一緒に生活していく上で、子を思う親の心、物を大切にする心など、利用者の方々からたくさん事を教わっています。これからは先人の知恵を吸収していきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時間等は設けず、いつでも来て頂ける雰囲気作りに努めています。必要があれば、電話等で相談し最善の方法で支援して行くようにしています。	○	問題解決に向けて、家族の方と職員と一丸となって利用者に最良のケアが提供出来るように努めています。これからも試行錯誤しながら、ベストを尽くしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会等へは、御家族を招待して一緒にお祝いして頂けるよう努めています。又、面会時でも御家族との触れ合いが出来るよう雰囲気作りに努めています。	○	緊急の場合の現況報告などを常に行い、家族関係が希薄にならないよう情報提供を行っています。毎月のお便りを利用して、家族関係が密になるように働きかけていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	自宅訪問は、今現在行っていないが、家族を通じて友人、知人の面会は常時受け入れています。	○	帰宅願望の強い方等には、特に、故郷訪問などを取り入れ、体調や時期などを見ながら毎月の行事の中に取り組んで行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気があって会話を楽しめる人、会話はあまりないが行動を共にする人など、それぞれパターンの合った支援を行い、孤立しないように最新の注意をはらっています。	○	毎日の生活の中で、全く他の利用者にとけ込めず、一日中自室で過ごされる方がおられるが、リハビリだけが楽しみであり、途中の職員との会話も楽しみにされているので、個別の援助を行っています。今後も継続して行っていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了した場合でも「何かあったら、いつでも相談してください」と伝えてアフターケアには、万全を期しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者個々の出来事を把握し、強制的にならないよう、本人の意向に添った介護を行なっています。	○	利用者のプライドを傷つけないよう、又、自立を促す介護で取り組みたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族・知人・友人の面会等を通じて、生活史を知り、毎日の生活の中に取り入れます。	○	利用者の生活歴を会話の中に取り入れ、昔の自分を思い出してもらえるように務めています。家族からの情報提供をしていただけるよう働きかけていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の身体的、精神的な特徴を理解し安心されるよう、声かけを心掛けています。	○	その日の体調を見ながら、快適な生活が送れるよう支援していきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を聞き取り本人の希望に添ったケアが出来るよう、月一回の勉強会でカンファレンスを行い作成しています。	○	月一回の勉強会があり、介護計画を作成し、本人や家族と話し合っています。外出等の行事（花見など）では、家族の理解を得ながら取り組んでいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月一回の勉強会の中でカンファレンスを行い利用者に応じて見直しています。急激な変化生じた場合は主治医とも相談し区分変更と共に新たな介護計画を作成しています。	○	現状に即した介護計画を作成しています。又、区分変更等が生じた場合は、速やかに対応していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の記録の中で具体的に、又、内容は、その場面が見える記録でなければならないが、簡潔的になりすぎる傾向があるので、もう少し利用者の観察に力を入れて行きたい。	○	記録に要する時間が取れない状態であるが、時間は自分で作るものである。利用者の側に居て出来る限り、状況記録が記入出来るよう取組んで行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診並びに移送サービスや他科受診サービスなど行っています。又、主治医の指示のもとで看護師による医療処置サービスを行なっています。	○	今年4月よりショートステイや医療連携体制加算サービスを提供出来るようになり、利用者のより安心・安全の生活を支援していきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事などの案内を出して家族の方の積極的な参加を促し、見学や研修などの受け入れを行なっています。	○	学校や民生委員、区長さんなどへも働きかけて、施設見学だけでも受け入れて行きたい。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在の所、他のサービスは、利用していません。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	難しい事例や問題などがあった場合、連絡を取り、問題解決に向けて取り組んでいます。	○	グループホーム以外の相談等があった時など、地域包括支援センターや支援事業などと連携して対応して行きたい。



宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期受診を行なっている、又、突発的な場合でもDrとは、常に連絡が取れるようにしている。家族の要望があれば、いつでも受診し結果を報告できるようにしている。	○	今後も利用者及び家族の方が安心出来るような受診体制を続けていきたい。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	自施設の理事長が精神科医の為、いつでも気楽に相談に応じてくれます。	○	御家族の相談にも対応出来るように支援しています。今後共、専門的な見解が得られるよう働きかけていきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	異常があった場合等、常に看護職とは、連携取れるよう、報告、連絡、相談をしケアを密に行なっている。	○	4月より医療連携体制加算が始まり利用者がわるくなった場合でも常に24時間体制で治療ケアにあたっています。これからも安心・安全が提供できるように支援していきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院中は、常に、面会に行き、Drより状態を聞きDrを中心に病院関係者や家族と退院に向けての話し合いをしている。	○	退院後の受け入れ体制を整えて、いつでも帰宅出来るように備えています。利用者や家族の不安が少しでも軽減できるように働きかけていきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族の要望を伺った上で主治医の指示を仰ぎ、その方が安楽出来る様な介護を皆で話し合っております。また、家族とも相談しながら職員全員で方針を共有しています。	○	終末期に向けた研修会等には、常に参加をし、取り組んでいる。職場でも看護師を中心にして、勉強会等で話し合っていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	当グループホームでは、過去2名の方を看取り、その際に終末期ケアについて大変勉強になりました。その経験を生かし今後このような状況が発生した場合でも主治医の指示を受け対応出来る様にしています。	○	終末期ケアを希望されている御家族には、夜間時などの協力が必要である事を伝え、その主旨を理解して頂いてます。グループホームで対応困難な時は、病院との連携にて最良の医療が受けられるよう支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームからの住み替えは殆ど御家族の希望によるものが多いので御家族に対しても十分な情報交換を行ないダメージ防止に努めています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人一人に対して接し方や会話も違うのでその人に合った言葉掛けやケアを提供しています。また、プライバシーを守り、個人情報の取り扱いには、十分注意しています。	○	利用者のプライドや誇りを傷つけないよう言葉掛けや対応に気をつけています。又、記録等、個人情報に関する書類は施設より持ち出さないように厳重に取り扱っています。今後共、継続して厳守していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者一人一人に声掛けを行ないながら分かりやすく説明し自己決定が出来るように支援しています。	○	日々の業務に流されてしまい、職員のペースになってしまうことがあるので、気をつけていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の日々の体調を把握し、無理のない程度に本人の希望に添った介護を支援しています。	○	食事の時、自分で食べるのが困難な利用者があるけど、なるべく自力摂取を促し、どうしても時間がかかるような時は、介助しています。これからも自立支援を促していきたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者が外出の際は、おしゃれや身だしなみを整えています。利用者の希望に合わせた洋服を選んでいます。散髪も御家族と一緒に外出される方も、おられますが、他の方は、職員で散髪しています。	○	衣類が尿汚染や食べこぼし等で汚染した折は、すぐに着替えさせるようにしています。人としての尊厳を守るように取り組んでいきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じテーブルに着き会話をしながら、食事を楽しんでいます。自力摂取出来ない方は、今の所いませんが、途中から介助したりしています。	○	職員も一緒に検食しています。食事に時間のかかる利用者もありますが、本人のペースに合わせて途中から介助したりしています。今後も食事の楽しみを味わってもらえるよう配膳等を工夫していきたい。
55 ○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、タバコを好まれる方は、現在いませんが、飲み物、おやつなどは、程よい量で健康に気をつけ、楽しめるように工夫しています。	○	検食日誌に献立やおやつを記録し毎日、バランスの取れたおやつを提供出来る様心掛けています。食事のメニューが常に重ならないように、心がけていきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意のある人は、布パンツを着用し尿意のない人は、日中、布パンツやトレーニングパンツで対応し、夜間、トレーニングパンツやオムツに交換し、時間を見ながらトイレ誘導、オムツ着用の方は、パット交換を行っています。	○	本人のペースに合わせ、時間毎のトイレ誘導パット交換を行っています。パットが汚染している時は、速やかに交換しています。排泄パターンが定着することにより、オムツ代の軽減も図ってきたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日で体調を見ながら（バイタルチェック）など確認し、希望に添った介助を行っています。	○	入浴を嫌がる利用者もありますが、声掛けしながら本人のペースに合わせ、気持ちの良い入浴出来る様に介護を行ってきたいです。
58 ○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中リハビリ体操やボール遊びなどで体を動かしてもらい様に心掛けています。希望のある方には、入眠剤をDrから出してもらい、ゆっくり休んで頂いています。	○	夜間ぐっすり寝てもらえる様に日中、リハビリ体操をしたり、洗濯物をたたんでもらったり、職員や他の利用者との会話、TVや音楽の鑑賞をしたり、程よい疲れが得られる様、心掛けていきたいです。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の出来る事を把握して声掛けをしながら、押し付けにならない様に行っています。	○	一人の入居者が隣にある施設に行くのを楽しみにしているので、雨の日や受診日以外は行くようにしています。その時、一緒に他の利用者にも声掛けをし散歩に出掛けたりしています。今後も個別ケア・グループケアが出来るような体制にしていきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段に買い物でお金を使う事は少ないが、ドライブや納涼祭などに出掛ける時に、お小遣いを持って行き品物を自分で選び買ってもらっています。	○	ゆっくりと買い物ができるお店に行き、金銭管理ができる様に支援していきたいと思います。
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物やドライブに出掛けたり他の施設への慰問見学、花見や地域の祭りなどにも積極的に参加するように努めています。	○	他施設の納涼祭や地域の祭りや花見などに出かけたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	故郷訪問なども計画が上がっているのですが、場所が遠かったり遠出を控えている利用者もいます。なかなか実現出来ない現状です。グループホーム主催の夕涼み会などは、御家族や地域の方も一緒に参加してもらっています。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な時、又は、本人の希望の時は、家族に電話したり、本人の納得がいく様にしています。	○	電話の希望がなくても、職員の方から声掛けをし、家族とのコミュニケーションをとってもらいたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気楽に訪問してもらえる様に職員も一緒に会話に参加したり、お茶などの準備をして、和やかな環境作りに努めています。	○	訪問して下さった方に、ゆっくりと過ごしてもらえる様な雰囲気作りをしていきたいです。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はなく自由に生活して頂いています。	○	常に声掛け、見守りで対応しています。転倒の危険性の大きい利用者の方もいますが、落ち着いて生活ができるように支援していきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>一名の入居者の方が、居室に誰かが入るのではと気にされ、日中、その方の居室にのみ鍵をかけることもあります。最近気になることが減ってきましたので、声掛けなどにより、施錠時間を少なくして行きたいです。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>無理強いせず、本人のペースに合わせて、少しずつでも入居者全員で過ごす時間を増やして行きたいです。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>薬や刃物類、洗剤などは鍵のかかる場所や目のつかない場所など、入居者の方の手の届かない、安全な場所で保管しています。今後共、安全が提供できるよう取り組んでいきたい。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>表皮剥離しやすい方へ、レッグウォーマーで保護しています。見守りに力を入れ、常に危険を考慮し介護を行って行きたいです。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>応急手当等、分からない事があれば勉強会時、看護師に指導を受けたり、医師に相談しています。これからも全職員がいつでも対応できるように日々精進していきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>今後は、震災訓練にも力を入れて取り組んで行きたいと思います。</p>

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の面会時、又毎月送らせて頂いている請求書のコメント欄などで入居者の方の現状を説明しています。家族からの質問・要望等は医師に相談し、対応策を話し合っています。	○	今年の四月より医療連携体制制度を開始し、正看護師が一名入ることになりました。（一号館・二号館を1ユニットとして）いつでも安心して生活していただけるよう家族とも密に連携をとっていききたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事量のチェック、排泄のチェック実施と様子観察に努め、異常に気づいた際には、速やかに医師に報告して対応しています。	○	毎日のバイタル、食事量・排泄等のチェックをかかざず行い、異常があれば速やかに医師へ報告すること、様子観察や、手で触れたりすることで異常発見に努めています。今後も継続してチェック体制を充実していきたい。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の薬把握ファイルに薬が出たときには、毎回とじていき活用しています。症状変化時には、その都度、主治医に報告しています。	○	新しい薬が処方された時には、必ず、どのような薬か、飲み合わせで悪い食べ物、飲み物はないかなど確認するようにしています。その都度服用したことの確認を徹底していきたい。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表にて、各入居者の方の便の状態や量、便秘等把握をし水分補給や適度な運動、緩下剤等でコントロールしています。	○	排便コントロールの難しい方もおりますが、カマグや緩下剤等でコントロールしています。それでも便秘が続く時には、医師に相談しています。職員全員でコントロールを行っています。これからも継続して対応していきたい。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア、義歯洗浄、うがいの声掛けの実施、及び夜間帯は義歯洗浄剤にて消毒しています。自力で出来る方には、誘導や準備の支援をしています。	○	義歯の汚れが目立つ方には、家族の了承を頂き、義歯洗浄剤を購入して頂くようにしています。毎食後口腔ケアの出来ない方もいますが、継続してケアを行っていききたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家庭料理を心がけているので、カロリー計算は出来ていないが、栄養バランスや彩り、水分摂取量には注意しています。	○	隣設する介護老人保健施設や病院の管理栄養士の方に検食日誌により、栄養バランスのチェックやアドバイスを頂いています。今後はカロリー計算のできるような方法を考えていきたい

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ流行の為に、手洗い、うがいを施行しています。又、ノロウイルス等にも気を配り、手すりの消毒を行い、口腔ケア時には、手袋をはめ、パット交換、トイレ誘導後は、手洗いをして職員一人一人が衛生面に十分気を配っています。	○	外出後の手洗い、うがいの徹底を行い、特にノロウイルス・肝炎などの防止を図りながら、手すりの消毒、又、トイレ後の不衛生を避ける為に、細めな、清掃・消毒に力を注いで行きたいと思えます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具で使用した器等は、丁寧に洗い流し、調理後夕方にかけて、まな板・台拭きなどは、殺菌の為にハイターにつけるようにしています。夏場は特に食材が腐りやすいので、加熱をいれるようにしています。	○	調理当番の人は、野菜や食材などの日付け確認、夏場の腐敗を防止する様、食材の加熱、冷蔵庫保存方法を考えて行きたいと思えます。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	いつでも御家族の方が安心して出入り出来るように、玄関周辺の清掃を行い、又、グループホームの形式・内容を御家族様にも理解して頂ける様、玄関前にパンフレット用紙を設置しています。	○	玄関周りを明るくし、御家族様にも安心してもらえる様な家庭的空間を目指して、プランターなどに花を植えていきたいと思えます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な生活を送れるように季節ごとの模様替え、利用者様と飾り物作ったり、行事事の写真を貼ったりし、いつでも楽しい生活を送れるようにしております。又、ホール内に網戸を設置し、風通しを良くし、生活しやすい空間を作っております。	○	ホール内に和室を設置し、利用者様が自由に過ごし、生活レクリエーションを楽しめる様、又、和室にて職員と一緒に洗濯たたみなど実施していません。しかし、足腰の悪い方が多く、和室の利用が少ないので、今後はもう少し工夫して和室の活用を図りたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内、皆様と共有空間が味わえる様、食事の場所・くつろげる場所を分け、特にTV前にソファを設置すると、一人一人が楽しく会話を持ち、利用者様との間でも親しみやすい関係が、構築され、快適に過ごされる様にしています。	○	一人一人が出来るだけ沢山の利用者と交流を深めていける様、食事、おやつ、レクリエーション等の時間を統一する様に心掛けています。利用者の方の居心地の良い場所、安心する場所を見極め、その気持ちを大切にしていきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（1号館）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者様が、以前自宅使用された物を御家族様に 持ってきてもらい、職員が気がついた面でも、御 家族様、利用者様と相談した上で利用者様に住み やすい居室作りを心掛けています。	○	季節に合った衣替えの取り組み、月ごとのカン ファレンスによって、職員共々話し合った中で、 行っています。なるべく、利用者様の意見、御家 族様の意見を尊重した上で取り組んでいます。利 用者の希望に添えるよう支援していきたい。
84 ○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	天気に応じ朝は、全ての窓を開け、網戸にし風通 しの調整を図ると共に温度の調整に気を配って います。又、利用者様が体調不良にならない様 、ホール・居室内に冷暖房をかける様にしてい ます。	○	天気の良い日は、冷暖房フィルターの清掃をし居 室内、ホール内の清掃をする場合は、窓を開けあ みどにし、換気を十分する様徹底しています。夏 季は冷房の冷えすぎにならないよう、外気温との 差に気をつけていきたい。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	施設内手すりを設置し、利用者様の残存機能を持 ち入りながら自立した生活が送れるようにしてい ます。又、居室内の段差をなくし、利用者様の負 担を掛けないようにしています。	○	なるべく利用者様一人一人に合ったベッドの配置 を考え、移動・移乗が安全に出来る工夫を取り組 んで行こうと思います。
86 ○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	居室内の場所の案内・確認を分かりやすく表札、 貼り紙などを使用しています。又、間違っ て他の居室に入っても混乱させないよう利用者様の ペースに合わせた声掛けを心掛けています。	○	通路にトイレを三ヶ所設置し、一人一人の身体機 能に応じ、利用者様が自由に行きやすい様、居室 の場所を考慮しています。今後とも、自立支援に 向けて取り組んでいきたい。
87 ○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は、玄関前・勝手口のポーチを生か し、リハビリ体操、体を動かしたレクリエーショ ンを行っています。又、施設内を散歩したりして 利用者様のリフレッシュ等にも役立ててます。	○	外周りを生かし、行事等にも目を向け、夕涼み 会、餅つき会なども実施しております。御家族様 にも呼びかけ、交流を深めていける様にしてい ます。しかし、まだまだ活用されてない空間があ るので、今後改善していきたい。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の方のニーズに対応出来る様、残存能力に合った介護に努めています。体調や気分に合わせて、起床、食事、入浴なども考慮し、時間に追われるような事のないよう自由に生活して頂けるように援助しております。又、体調管理の面でも母体が病院である為、容態急変時でも、すぐに医師との連携が取れ、特に夜間帯の緊急時には、医師の指示にて看護師が対応してくれるので安心して生活して頂いております。ホームの園庭も広く、自由に散歩を楽しんでもらったり、家庭等園なども利用者の方と一緒に野菜作りに励んでおります。日々の日課としてリハビリ体操やレクリエーションを取り入れ、日常生活に張りを持てるように支援しています。